



福島県立梁川高等学校

平成 31 年 3 月 5 日

校長通信

Team Yanagawa

vol. 38

■ 啓蟄の地の面濡らして雨一と日（稲畑汀子）

明日三月六日は二十四節気の一つ啓蟄です。陽気に誘われ、冬眠していた虫たちが土の中から出てくる頃とされています。また、昨日は終日雨が降りましたが、この時期は一雨ごとに、土が潤い、草木が育ち、暖かさが増していきます。さまざまな生物が目覚め始め、春はもうそこまで来ています。学校では卒業式も終わり、三年生が思い出の詰まった学校を巣立っていきました。送り出した後の心境には、何となく淋しいものがありますが、新年度に向けた準備も始まっており、気持ちを切り替えて日々の校務に当たっていきたいと思います。



■ 日本のローザ・ルクセンブルク ～渋谷黎子について～

渋谷黎子は旧姓が池田梅子（ムメ）。1909（明治 42）年、福島県伊達郡栗野村の池田安右衛門とスエの四女として生まれました。生家は伊達郡屈指の資産家池田一族の一家で、広大な田畑を有する地主であるとともに、蚕種の製造販売で財をなしました。黎子は幼い頃から何不自由のない暮らしの中で利発で活発な少女に成長し、栗野小学校尋常科 6 年の時は、成績優秀で伊達郡長より優等賞をもらいました。1924（大正 13）年には本校の前身である**梁川町立実科高等女学校**に入学し、自宅から約 2 キロの道のりを徒歩で通学しながら、しばしば、梁川町で雑貨商を営む次兄のもとに泊まり家事の手伝いをしていました。女学校時代、早熟な黎子は自分の境遇に深い疑問と悩みを抱くようになります。それは富裕な地主階級の自分の生活と、周囲の貧しい農家や小作人の実情との矛盾、そして酒食に溺れる放蕩な父親と堪え忍ぶだけの母親の存在が、感受性の強い黎子に影響を及ぼしたからと言えるでしょう。黎子は在学中、内外の社会主義関係の文献に触れ、雑誌『改造』や『無産者新聞』などを密かに購読し、社会主義思想に共感するようになります。また、級友と『雑音』というサークル雑誌をガリ版刷りで発行し、時事問題を記事にして梁川警察署の取り調べさえ受けています。黎子のある親友の回想によれば、黎子はクラスに絶えず新風を吹き込み、その知性は際立っていたと述べ、また、ある親友は自分が文学に目覚めたのは黎子から借りた『レミゼラブル』がきっかけで、彼女から得るものは真心を揺さぶり、意欲を育てる豊かなものであったと述べています。※黎子の年譜では女学校入学が大正 11 年とあるが、卒業者名簿では大正 13 年である。



女学校を卒業した頃の黎子

女学校卒業後、自宅で家事手伝いをしていた黎子は、一人の男性との運命的な出会いをし、農民解放運動の道を歩むことになりました。その男性が農民詩人にして農民解放運動の活動家であった渋谷定輔です。やがて二人は結婚し、定輔の実家がある埼玉県を中心に活動し、黎子は全農埼玉県連婦人部長として活躍します。当時、農民解放運動は非法であったため、常に警察による弾圧や逮捕の危険と隣り合わせでした。1932（昭和 7）年、埼玉県警による弾圧により定輔と黎子は逮捕されます。定輔は拘留中の暴力で頭を負傷し、釈放後は長期の療養を余儀なくされます。一方、黎子は一日で釈放されますが、酷い拷問を受けこれが原因で肋膜炎を煩い、なかなか健康が回復しないまま、その二年後、病状が再び悪化して危篤状態に陥り、定輔の実家で息を引き取りました。まだ 25 歳の若さでした。絶命する直前、昏睡から覚めた黎子は、瞳をぱちりと見開き、次の言葉を叫び終えると、静かに目を閉じたと言われています。「ローザ、ローザ、ローザのごとく、強く、やさしく、正しく生きよ。」

ローザとは、黎子が心から敬愛し思想的影響を受けた、ポーランド出身の社会主義運動の理論家ローザ・ルクセンブルクのことです。ローザもまた 1919（大正 8）年、第一次世界大戦直後に混乱するドイツで非業の死を遂げています。ところで、黎子を失った定輔は 1989（昭和 64）年に他界するまで活動を続けました。定輔は生前、黎子のふるさと梁川町栗野を訪問しています。1975（昭和 50）年のことになりますが、その折、梁川高校にも立ち寄っています。また、1978（昭和 53）年に黎子の遺稿集『この風の音を聞かないか』が出版されると、梁川高校あてに直筆のサイン入りで同書を寄贈してくれました。震災後、実物は旧図書室で埋もれていましたが、司書の田代さんに発見してもらい、現在、校長室で大切に保管しています。創立百周年を迎えるにあたり、梁川高校の歴史に渋谷黎子の名前を刻む必要があるでしょう。また、皆さんもこれを機会に黎子の遺稿集を読み、彼女の愛と闘いの記録に触れてはいかがでしょうか。

【参考文献】『渋谷黎子雑誌』『渋谷黎子の生涯』『この風の音を聞かないか』『梁川町史 10』

みんなを待っているのだ！

未来からの使者

本校に未来から「ドラえもん」がやってきました。2月15日より家庭科調理室前に立ち生徒諸君を待っています。野崎万里子先生はドラえもんと大の仲良し。その縁で来校の運びとなりました。ドラえもんが大好きな高橋詩織先生も大喜びです。ドラえもんからのメッセージは「なにかしよと思ったら、そのことだけに夢中にならなくちゃだめだ」。これからも定期的に生徒諸君にメッセージを掲げる予定です。生徒諸君もドラえもんと仲良くしてみませんか。



■ 業立ちのとき ～卒業式が行われました～



3月1日、第71回卒業証書授与式が行われ、3年生47名が思い出深い学舎を巣立っていきました。今年の3年生は基本的な生活習慣が身につけており、日頃から学習や部活動に積極的に取り組んでいました。その甲斐あって例年になく早期に進路も決定し、模範的な生徒たちでした。朝の登校指導や校内を巡回している時などは、私に必ず挨拶をしてくれました。本当にかわいい生徒達との別れは辛いものがありますが、卒業生の門出を祝福するとともに、夢や希望を実現し幸せな人生を送ってくださることを心から願っています。卒業おめでとうございます。



■ インターンシップ報告会が行われました

2月12日、1学年の総合学習の時間においてインターンシップ報告会が行われました。1月実施されたインターンシップに取り組んだ2年生5名を招き、それぞれの体験報告を聞きました。先輩の話聞くことで、来年度への意欲を高め、学習や日常生活の過ごし方について考えさせる目的で毎年行われています。1年生達は2年生の体験報告に耳を傾け、一生懸命メモを取っていました。また、質疑応答も行われ、進路を考える有意義な時間となりました。

【報告者】 酒井七海（ヨークベニマル）、照内研斗（マザーヤマキ）、齋藤 羽（フクシマフーズ）
佐藤肇城（梁川ホーム）、佐藤来実（梁川中央保育園）



発表する齋藤君

■ 1年生がボランティア活動に取り組みました

2月26日の総合学習の時間において、1年生が二班に分かれてボランティア活動を行いました。Aコース16名は梁川デイサービスセンターでの交流活動に、Bコース21名は阿武隈急行希望の森公園駅周辺の清掃活動に取り組みました。Aコースでは、施設を利用しているお年寄りの方々に歌と楽器の演奏を披露した後、生徒一人ひとりがお年寄りと歓談しました。お年寄りの笑顔と生徒達の生き生きとした表情が輝いていました。また、Bコースでは、ホームや駅舎周辺の空き缶、ゴミ、落ち葉など拾いましたが、楽しみながらも一生懸命活動している生徒達の姿が印象的でした。



■ 華道部による生け花展が開催されました

2月23日と24日の2日間、梁川美術館において華道部による生け花展が開催されました。生徒達のご指導をいただいている小野洋子先生のご厚意により、毎年、池坊福島支部小野社中の皆様とご一緒させていただいています。今年も見事な作品が展示され、来場された方々の目を楽ませていました。今年も部員数も多く、男子生徒の力作も目立ちました。

生徒の作品展



■ 昭和19年度卒の八巻キエさんに話を聴きました

お世話になっている小野先生

2月2日と3月2日、土曜日を利用して本校の前身である梁川高等女学校を昭和19年度に卒業した八巻キエさんにお会いしてきました。八巻さんは修業四箇年制の第一期生として昭和16年に入学しました。その年の12月に太平洋戦争が勃発、戦時色が日増しに濃くなる中、昭和19年10月からは、福島市の大日本兵器工場に勤労働員され、厳しい労働環境と食糧不足の中、兵器製造に従事するなど大変なご苦労をなさいました。昭和20年3月に卒業後は、小学校教諭として教育の第一線で活躍され、退職後は悠々自適の生活を送られています。当日は女学校時代の写真や同級会の写真を納めたアルバムをお借りし、昔を知る手がかりとさせていただきます。また、勤労働員された女学生たちの心の支えとなった島田美穂先生の手紙等を拝見し、貴重な時間を過ごしました。この場を借りて御礼申し上げます。今後は女学生と島田先生の交流について、文章にまとめる予定です。

学校評議員会が行われました

2月18日、第三回学校評議員会が開催されました。年度末評価の結果について、各部から説明が行われ、質疑応答の後、評議員の皆様からご意見をいただきました。ご意見やご指摘を謙虚に受け止め、アンケートの結果を分析し課題を把握するとともに、次年度に向けて改善策を検討する予定です。評議員の皆様には一年間大変お世話になりました。

百人一首イラスト展が開催されました

2月28日と3月1日、選択科目「古典A」を履修した2・3年生の百人一首イラスト展が開催されました。佐藤貴子教諭の指導のもと、授業で学んだ百人一首から、好きな作品を選び、詠み人の置かれた状況をイメージして、イラストを描きました。生徒諸君は図書館の文献や資料を使い、歌の内容を調べ、言葉の意味についても深く学びました。どれも素晴らしい作品でした。

